

Contact: 広報担当(マーケティング部)
Tel: 03-5411-3790
E-mail: Tokyo-RIJ@russell.com

ラッセル・インベストメント株式会社
東京都港区赤坂 7-3-37 プラス・カナダ
www.russell.com

発信日: 2008年7月3日

ラッセルが外国株式マザーファンドの 外部委託先運用会社を変更

マーシコ・キャピタル・マネジмент・エル・エル・シーを採用

ラッセル・インベストメント株式会社(本社:東京都港区)は、同社が設定・運用管理しているファミリーファンド方式によるマルチ・マネージャー・ファンドの「ラッセル 外国株式マザーファンド」(「ラッセル 外国株式ファンド I」、「ラッセル 外国株式マルチ・マネージャー・ファンド」【愛称:ワールド・エキスパート】、「ラッセル グローバル・バランス・ファンド(安定型/安定・成長型/成長型)」【愛称:ライフポイント】、および「ラッセル 外国株式マルチ・マネージャー・ファンド(確定拠出年金向け)」の主要投資対象)において、2008年7月3日付で運用会社構成を一部変更し、グロース(成長)型の運用会社として、マーシコ・キャピタル・マネジмент・エル・エル・シー(以下「マーシコ」)を採用いたしました。この変更により、今後当ファンドは、「バリュー(割安)型」1社、「マーケット・オリエンテッド(市場)型」2社、「グロース(成長)型」2社の計5社^{*1}体制で運用してまいります。(下表参照)

マーシコは、ラッセル・インベストメントの運用会社調査チームが高い評価を与えている運用会社です。今回の運用会社の変更は、ファンドの運用会社構成に対する確信度を高め、より安定した超過収益の獲得を目的としています。変更と同時に各運用会社への資産配分割合を調整することで、ファンド全体のバランスを保ちます。

マーシコは、トップダウン・アプローチとボトムアップ・アプローチを組み合わせた運用を行います。今後株価形成に影響を与えると考えられる市場のテーマおよびマクロ経済見通しをベースに、個別企業について面談を含む詳細な調査を行い、銘柄の絞り込みを行います。テーマやマクロ経済動向の観点を銘柄選択プロセスに織り込むことにより、多様な投資アイデアが生まれ、成長度の高い銘柄の発掘につながっています。

すでに採用しているグロース(成長)型運用担当のマッキンリーは、株価のモメンタムや収益面でのサプライズ(予想を上回る決算発表等)を重視した運用を行うことから、マーシコとは相互補完性が認められ、ファンド全体としてさらなる分散効果が期待できます。

以上の理由から、マーシコの採用がファンドのパフォーマンス向上に資するものと考え、運用会社構成の変更を決定いたしました。

マーシコの採用により、より確信度の高い運用会社構成とし、多様な市場環境においてさらに高く安定した超過収益の獲得を目指します。

ラッセル・インベストメントは、継続的な運用会社調査の一環として年間約8,000の運用プロダクト^{*2}をモニターしています。その中から約200のプロダクトが、現在当グループのマルチ・マネージャー・ファンドに採用されています。こうした運用委託先を組み合わせることにより、リスク分散されたポートフォリオを構築します。今回の変更は、ラッセルによる継続的な運用会社調査および資本市場調査の結果に基づくもので、マルチ・マ

ネージャー・ファンドならではの特徴の一つです。ラッセルのマルチ・マネージャー・ファンドでは、今後も市場や状況の変化等に応じて、適切な運用会社構成の変更を実施してまいります。

＜「ラッセル 外国株式マザーファンド」の外部委託先運用会社構成＞

運用会社	運用スタイル	目標配分比率
ハリス・アソシエイツ・エル・ピー	バリュー(割安)型	15%
アローストリート・キャピタル・エル・ピー	マーケット・オリエンテッド(市場)型	25%
エムエフエス・インスティテューショナル・アドバイザーズ・インク	マーケット・オリエンテッド(市場)型	30%
マーシコ・キャピタル・マネジメント・エル・エル・シー	グロース(成長)型	20%
マッキンリー・キャピタル・マネジメント・インク	グロース(成長)型	10%

※1 ラッセル・インベストメント内の関連会社を除く外部委託先運用会社の数を指しています。

※2 2007年12月末現在。個々の運用会社の運用手法を指し、運用会社によっては複数所有しているところもあります。

ラッセル・インベストメントについて

ラッセル・インベストメントは、現在世界 47 カ国において、年金、金融機関および個人投資家など様々な投資家の皆様を対象に総合的な資産運用ソリューションを提供しています。グローバルに行う運用会社調査をもとに、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金サービス、資産運用コンサルティング、売買執行管理、株式インデックスの開発など幅広く業務を行っており、現在当グループが提供するファンドの運用資産総額は約 21 兆円*となっています。グループの創立は 1936 年。米国ワシントン州タコマを本拠地とし、米国最大手の個人生命保険会社であるノースウェスタン・ミューチュアル・ライフ・インシュアランスの子会社です。

日本においては 1986 年に東京オフィスを開設。現在、ラッセル・インベストメント株式会社を通じて各種サービスを提供しています。詳しくは www.russell.com/jpii をご覧ください。

(※ 2008 年 3 月末現在)

Copyright ©2008. Russell Investments. All rights reserved. ラッセル・インベストメントは世界中の拠点を通じて事業を展開しています。「ラッセル・インベストメントグループ」、「ラッセル・インベストメント」および「ラッセル」は、フランク・ラッセル・カンパニーおよびその子会社等の総称です。当資料は、当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その情報の正確性や完全性についてこれを保証するものではありません。当資料は、一般的な情報の提供を目的としており、特定の運用商品の推奨等の投資勧誘を目的としたものではありません。当社による事前の書面による許可がない限り、資料の全部または一部の複製、転用、配布はいかなる形式においてもご遠慮下さい。